

No	企業名	所在地	タイトル
1	(株)アート総合設計	袋井市旭町二丁目	カーボンニュートラルからカーボンオフセットへ！ 現場発生土が拓く環境再生型インフラ開発
2	愛管(株)	浜松市浜名区都田町	自然共生サイトで体験するカーボンニュートラル（仮）
3	(株)エステム	名古屋市南区 弥次エ町二丁目	クラウド型水処理施設遠隔監視・管理システムの紹介（仮）
4	(株)エフ・シー・シー	浜松市浜名区 細江町中川	省エネ診断から始める、工場・施設の設備改善支援事業（仮）
5	サーラエナジー(株)	愛知県豊橋市駅前大通	電力事業について（仮）
6	JFEエンジニアリング(株)静岡支店	静岡市葵区黒金町	未定
7	(株)シナジー研究所	東京都港区 虎ノ門四丁目	企業の思考をAIが学ぶ「業務参謀AI」 ー 営業参謀からGX参謀まで ー
8	東京海上日動火災保険(株)浜松支店	浜松市中央区板屋町	脱炭素経営支援、電気代をはじめとしたコスト削減のご案内
9	パイフォトニクス(株)	浜松市中央区天王町	建築の魅力を光で引き出す ーホロライトによる空間演出と省エネ効果の検証（仮）
10	浜松貿易(株)	浜松市中央区神田町	未定
11	(株)フォーバル	東京都渋谷区 神宮前五丁目	「脱炭素を『負担』から『成長の機会』へ」 ～地域中小企業の自走を促すGX伴走支援～（仮）
12	(株)フルハシ環境総合研究所	名古屋市中区 金山一丁目	削減貢献量の算定と効果（仮）
13	(株)Media Japan	東京都豊島区 東池袋一丁目	脱炭素と経費削減の親和性
14	リファインホールディングス(株)	東京都千代田区 丸の内二丁目	100%バイオマスコンパウンド「RegeNature®」による 地域密着循環型事業への挑戦
15	(株)早稲田環境研究所	東京都新宿区 西早稲田二丁目	Jクレジットを通じたCO ₂ 排出量削減の更なる推進（仮）
16	(株)Itumo	東京都新宿区 西新宿三丁目	環境AI『ABYSS』 現場データからサステナビリティ経営へ

※ 発表企業・団体様の最新情報は、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/event/shortpitch7.html>



本協議会では、ゼロカーボン・ショートピッチ等を通じて、会員企業同士が連携し、脱炭素関連の新たなプロジェクトが動き出しています。

プロジェクト創出件数

約20件（累計）

ユニバンス×4建設会社

バイオディーゼル製造・利用に向けた課題整理

- 株式会社ユニバンス
廃食用油由来のバイオディーゼル製造・利用事業に向けて、
協議会会員企業へのヒアリングを実施
- 協力企業
- | | |
|----------|----------|
| ・須山建設(株) | ・東急建設(株) |
| ・常盤工業(株) | ・西松建設(株) |

丸友開発× シンコムアグリテック

解体現場の「茶ノ木バイオ炭」(地産地消の実装)

- 丸友開発株式会社
解体工事、土木・建設工事を行う地元企業
- シンコムアグリテック株式会社
農業由来のバイオ炭製造技術を有する農業関連スタートアップ
- 取組内容
建築物解体時の杭引抜き後の杭穴埋戻し材にお茶の木由来のバイオ炭を混合し、資源循環を検討

明石石油×日本板硝子

真空断熱ガラスの販路拡大（リソースの最大化）

- 明石石油株式会社
強み：豊富な営業力による地域密着型の一貫体制を構築
- 日本板硝子株式会社
課題：営業力不足による真空断熱ガラスの新たな販路の開拓
- マッチング
脱炭素・省エネの提案の際に明石石油の販売網を活用し、
販路の開拓と拡大を実現

④ UNIVANCE

植物油や動物性脂肪を原料にして作られる 再生可能な環境に優しいディーゼル代替燃料

主な原料

- ・ 植物油 (てんぷら油など)
- ・ 菜種油 (キャノーラ油)
- ・ 大豆マーガリン
- ・ 動物性油脂 (牛脂・豚脂 など)

製造方法

- ・ **エステル化反応** (植物油+メチルエステル) により**化学反応**によって作られる。
- ・ 原料が主にメタノールと脂肪酸等である反応をよんで、**バイオディーゼル (BDMF: Fatty Acid Methyl Ester)**が作られる。

特長と利点

- ・ 原料のほとんどは**再生可能な環境に優しいバイオマス原料**である。
- ・ 燃焼しても植物が成長過程で吸収したCO₂を排出するだけなので、**カーボンニュートラル**とされる。
- ・ ディーゼルエンジンで燃やす。
(100%使用 or 軽油混合も可能)
- ・ **魚介類がおり**自然環境で分解されやすく、適切な場合の燃焼と共に水質汚染防止効果も期待される。




丸友産業 × シン・ムダリテック

解体現場への「茶ノ木バイオ炭」地産地消の実装構想

■ 廃棄物に由来する基礎材が採取
例：打込機で約100kg/1回
(2回でのみ2トン程度取れます)

■ 炭素を地産地消で回収
■ 平野区産による「バイオ・チタニウム」製造

■ 町農産物の「茶ノ木」をバイオ炭へ
■ 1トンロット発注
■ 埋め戻し料とバイオ炭を深さ10cm以内へ





2025年4月～12月 真空断熱ガラス営業の活動結果

いつも愛心、ずっと支える



デモ機実演：85社



WEBセミナー：14社参加
(2025年8月開催)



産美玩具フェアinいわた出展(11/7~8開催)

兄讀書擇元

成約：2社
茅簷上生田：12社

